

元NBAで活躍した「カール・ランドリー」選手の入団記者会見が開催され、中国新聞に掲載されました。

B2広島ランドリー獲得「昇格へ本気度示す」

＜ランドリーのNBA年度別成績＞				
シーズン	チーム	試合	1試合平均得点	リバウンド
2007～08	ロケッツ	42	8.1	4.9
08～09	ケック	69	9.2	5.0
09～10	ケック	80	16.8	5.9
10～11	ロケッツ	76	11.9	4.6
11～12	ホネッツ	41	12.5	5.2
12～13	ホネッツ	81	10.8	6.0
13～14	ホネッツ	18	4.2	3.2
14～15	ホネッツ	70	7.2	3.8
15～16	ホネッツ	36	9.8	4.1
	計	513	10.8	4.9

バスケットボール男子Bリーグ2部（B2）西地区2位の広島は29日、新外国人選手として米プロリーグNBAで通算513試合に出場したパワーフォワード、カール・ランドリー（35）＝206センチ、125キロと契約合意したと発表した。2月2日のホーム愛媛戦から出場可能となる。
（日野淳太郎）

NBA513試合出場

昇格へ本気度示す

B2広島がクラブ史上最高のビッグネームと契約した。プロリーグの世界最高峰NBAで長年プレーしたランドリー。親会社のNOVAホールディングスのバックアップで実現した補強で、浦伸兼社長兼GMは「B1に上がるんだという本気度の表れ」と強調する。

昨年12月に同社が経営権を握り、矢継ぎ早に補強に出た。1月11日にミラーを獲得し、外国人選手をリーグ規定の上限となる3人体制に。また安定感を欠くトンブソンは戦力として厳しいと判断し、高さがあってインサイドで起点となる選手の調査にも乗り出した。代理人からのリストにあった候補の1人が、昨春以降フリーだったランドリー。「圧倒的な実績のある選手」を求めていたクラブは、NBAの1年目（日野淳太郎）で新人ベスト5には選ばれるなどの豊富な経験がチームに新たな力をもたらすと判断。NOVAホールディングスの金銭面での支援があり、獲得が実現した。リーグの移籍期間は2月末まで。クラブは、ミラーとともに2月中旬に状態を上げることが期待している。浦社長兼GMは「ライバルの熊本や島根との直接対決が続く3月以降、万全のチーム状態で臨めるよう手を打った」と説明した。

B2広島ランドリー獲得

ランドリーは米ミルウォーキー出身。パレードを経て、2007年にNBAロケッツでプロデビュー。計5チームで9季プレーし、1試合平均22・5分の出場で同10・8得点、同4・9リバウンドの成績を残した。17年には中国のリーグへ移籍したが、18年春以降は所属チームがなかった。

広島はNBA経験者獲得は初めて。出場試合数513は、BリーグでプレーするNBA経験者では歴代最多。ランドリーはクラブを通じて、「広島に加われよう」という思いを込めて来た」と意気込みを語った。

【カール・ランドリー選手のコメント】

このチームに入団することができて大変嬉しく思います。この機会をいただいたことに感謝していますし、バスケットボールのコートに戻ってこれることができて嬉しく、楽しみに思っています。勝利に向けてプレーし、チームの目標である高みへ進むために自分が少しでも貢献できればと思っています。フロント、チームメイトとも会わせてもらいましたが、本当に素晴らしいメンバーが揃っていると感じました。

自分がここに来た理由は、クラブが目指している目標に少しでも近づけるようにするためですので、必ず貢献したいと思います。この素晴らしいクラブのために自分ができる何かを見つけて、オンコート、オフコートを含めて自分ができる全てをこのチームに捧げたいと思います。